

スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	大門まちづくり友の会	
まちづくり 活 動 名	わが街大門(おおもん)を愛でて、魅力を発信しよう！	
活 動 地 域	名古屋市中村区大門地区	
活 動 の 背 景	(団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。) 地域に残る資源(建築物・文化・立地)を利用して、子どもたちから高齢者、また新住人と旧住人を繋げ、街の活性化と安心して暮らせる街にしていきたいと思い、大門に住む有志を中心に活動をしています。	
目的・目標	(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。) ■目的 街の魅力を発信により、イメージをアップする。 ■目標 住民が自分たちの街にプライドを持ち、協働する中で繋がりを作る。 ■成果 住民の定住化・増加。 犯罪の低減化。	
活 動 内 容	(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。) 《大門マップ 2020 版の作成》 昨年製作をした「大門マップ」が街の内外から多数反響を頂き、また年々街の様子が変化している状況もあり、より最新の街の魅力を知って頂くには年次更新をしていく必要があります。 本年度は掲載店舗を増やしていく事により、もっと多くの街に眠っている魅力を発掘し、それを発信していきます。 《マップとウェブアーカイブの連動化》 上記の作成するマップにQRコードを埋め込み、ウェブ上には過去の街並みや史跡の写真をアップし、その連動化を行います。 住民の方々からそれぞれの想いのある昔の写真を提供して頂き、それをウェブ上(団体のブログやSNS)にアップをしていきます。 外から来られる方にとっては、今は見れない過去の様子を知る事から街の魅力を知って頂く事に繋がり、住民にとっては懐かしい写真に触れる事やそれを提供して頂く過程において、自身が住む街の魅力を再発見するきっかけとシビックプライドの醸成に繋がればと考えています。 《バーチャル街歩きツアーの開催予定》 毎年恒例の街歩きツアーは新型コロナ禍により開催不透明なので、ウェブ上でのバーチャル街歩きツアーを開催予定です。	
活 動 予 定 期 間	2020 年 9 月 ～ 2021 年 2 月	
助成金交付 申 請 額	100,000 円	※1回目(上限5万円) ※2回目、3回目(上限10万円)

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) 私たちの地域は、高齢化が進む住人(旧住人)とニューファミリー世代の新規入居(新住民)が増えている地域です。高齢化世帯は独居化が進み、近年でも孤独死なども痛ましいニュースも身近になり、また同時にリニア中央新幹線の新設に伴い、街の成り立ちや背景を知らない区外・県外からの30代のファミリー世帯の入居も増えてきています。 私たちが行うイベントや製作する大門マップを周知する事により、そうした二極化している住民を繋ぐきっかけを作り、自分たちが住む街を知り、好きになる機会を創ります。	
審査基準② 実現性	・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。) 過去2年間、本助成金を使わせて頂く事により、街の中に共感してくれる人たちが増えてきている事と、街の外からも積極的に関わりを持ちたいという人たちも増えており、そうした広がる人脈を活用し、広報の広がりや活動の広がりを創っていきたいと思っています。 また本年度はウェブアーカイブ化を進める事にあたり、住民の方々から昔の写真などを提供して頂き、それをSNSなどで発信をしていきます。昔に想いを馳せ、またその想いを次世代へと繋げていく事により、旧住人と新住人との輪が繋がり、地域全体にシビックプライド醸成に繋がっていきます。	
審査基準③ 発展性	・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。) 昨年度から名古屋市が進める観光事業「太閤秀吉功路」との連携を進めており、本年度はそれの更なる連結と、行政と共に進める具体的なまちづくり対策や空き店舗対策を行っています。 大門マップを作成する事やウェブアーカイブ化をする事により、そうした連携を更に強める事に繋がり、また継続的に活動を行う地盤となっていきます。	

3 活動にあたり他団体(町内会、自治会他)、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
中村区役所 地域力推進室	太閤秀吉功路との連携
新大門商店街振興組合	商店街各店との協力

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1 ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2020	4		
	5		
	6		
	7		
	8	定例会の実施	マップ作成内容の検討 過去写真等の収集検討
	9	定例会の実施	作成マップの検討 収集写真の検討
	10	ウェブアーカイブ化	ウェブ（まちづくり友の会ブログ）へのアップ（9 月頃から順次行う）
	11	マップ印刷・配布	3000 枚印刷。 区内の各所へ配布と、区外への配布。
	12	定例会の実施	マップの反応等への検討と対策
2021	1	バーチャル街歩きツアーの実施	S N S を活用し、ウェブアーカイブの広報と活用方法の周知。
	2	定例会の実施	各事業の内容精査と次年度への検討課題抽出
	3		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照		活動項目	内 訳・算出根拠	金 額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1 回目は 5 万円、2 回目、3 回目は 1 0 万円				100,000 円
活動経費の内訳	広告費	マップ作成	街歩きマップ 3000 部 30,000 円	30,000 円
		デザイン料謝金	マップ制作費 スタンドPOP 製作費 ウェブアップ作業費	40,000 円 10,000 円 10,000 円
		マップ用スタンドPOP	マップ設置箇所 50 か所	10,000 円
	消耗品費		定例会開催日使用文具・コピー代	10,000 円
支出合計				110,000 円

※ 1 ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。